

# 平成31年度 第1回駒ヶ根市定例教育委員会 4月22日(月) 教育長報告

## 吾、常に此において切なり

「どんなときであっても、どこにいようと、その場で、その事に、心を込めて切実に勤めること」 (唐代の禅僧：洞山良价 和尚)



※あと1週間ほどで平成の時代が終了し、令和の時代が訪れます。元号がどんなに変わろうとも、先生方が人事でどこの学校に赴任しようと、この精神で子どもに真向っていただきたいと思えます。私たち教育行政に携わるものも、気持ちは同じでありたいです。一年間よろしくお願ひします。

※駒ヶ根市教育の基本(別紙)を熟読ください。

### ◆諸会合等の報告 4/16 市町村教委連絡協議会

#### 1 役員の選任について

##### (1) 決定役員

<input type="checkbox"/> 会長	<b>北原秀樹</b> (伊那市)	<input type="checkbox"/> 教育長部会	
<input type="checkbox"/> 副会長	<b>小野正行</b> (辰野町)	部会長	<b>笠原千俊</b> (伊那市)
	<b>白鳥彰政</b> (箕輪町)	町村教育長会長	<b>宮澤和徳</b> (辰野町)
<input type="checkbox"/> 会計監事	<b>篠田秀児</b> (宮田村)	<input type="checkbox"/> H31 事務局	
	<b>清水道直</b> (南箕輪村)	幹事	<b>黒岩芳広</b> (南信教事総務課長)
		"	<b>熊谷真盛</b> (南信教事総務課長補佐)
		補佐	<b>竹澤尚子</b> (上伊那連教)

#### 2 総会(研修)について

(1) 期日 令和元年7月2日(火)

(2) 会場 中川村文化センター

(3) 日程 12:30~12:50 受付

13:00~13:50 総会

14:05~14:50 研修Ⅰ 授業参観(中川西小) 小学校英語・英語活動

15:00~17:00 研修Ⅱ ふるさと教育(陣馬形山)

※雨天時「アンフォルメル中川村美術館」と「ハチ博物館」

17:15~18:45 情報交換会(2F小ホール)

※後日出席の可否をとります。よろしくお願ひします。

#### 4 次回連絡協議会 6月7日(金)

◆古典（古き）に学ぶ

**人間と風土の関わりの中で文化が生まれる。  
風土が人間をつくり、人間が歴史をつくる。**

《多くの有名人を輩出している大分県》

三浦梅園、広瀬淡窓、ペトロ・カスイ岐部、野上彌生子、福澤諭吉、田能村竹田、  
滝 廉太郎、福田平八郎、久留島武彦、双葉山

その中の一人、三浦梅園に焦点を当てる。

**「三浦梅園」の人となり**

- 「普通の人には『変』の現象を見て、どうしてだろうと思う。なぜ地震が起こったのかと。梅園は『常』を見て、『なぜ』という問いを発する。どうして毎日地震が起こらないのかと。毎日見ていることから疑いを発する。ニュートンがリンゴの落ちるのを見て引力の法則を発見したのと似ている。」
- 世間人は、”はず”をこしらえ、すべてこの”はず”で納得しようとする。目は見えるはず、重いものは沈むはず、地震は大地が動くはず、とすましている。なぜ耳で見ることができないのか。

《大分県の先哲に共通した生き方》

**一つのことに徹してチャレンジした頑固さと、世界や未来に向けた進取の気性を持ちながら、フレキシブル（柔軟）な発想と姿勢で道を切り開いていったこと。**

- グローバルに考え、ローカルに行動した人間たちの軌跡を学びたい。
- 芸術は長い時間がかかる。若い人の可能性を認め、勇気づけ、伸ばしていくことが必要で、可能性を信じていく事が大切である。
- 文化や芸術には地方と中央の区別はない。

※将来性を鑑み、駒ヶ根市の教育をより充実したものにするために、この姿勢は大変参考になると思われます。

**一つのことに徹してチャレンジする頑固さ  
世界や未来に向けた進取の気性を持つ  
フレキシブル（柔軟）な発想と姿勢**

◆先達の教え

**遺伝子学の権威**

**村上和雄さん**

- 「どんな人間が最後に生き残るのか」という質問をコンピューターに問いかけたところ、どんな答えが出たか。

それは、「**譲る心を持った人**」

村上さんは更にこう付け加える。

「人の心は『他人のために』行動するときが、最もいい状態を保つことができる。」



■悲しいかな、スポ少の現状

4/3 スポーツ少年団発会式がありました。今年は剣道団の子が司会をしていました。会の前に時間までスポ少の歌の練習をしました。騒ぎの中、終了しました。

さて、定刻となり、司会の子が静かにしてくれるよう再三呼びかけて会を進行しようとなりました。私の見る限り、会場がうるさい状態のまま、進行し始めました。「1開会の言葉」からざわついていきます。団長の挨拶でもざわつきは止まりません。団長の挨拶は聞こえません。でも団長は話し続けます。

私の番になりました。「今日は、大事な発会式です。主役は皆さん子どもたちです。ですが、あまりにうるさいので、保護者の方が静かになるまで待ちますね」と子どもたちに伝えました。1分ほど（2分ほどに感じた）、マイクの前で黙ったままでいました。相変わらずうるさいですが、じっと待ちました。ようやく静かになりましたので、顔を子どもに向けて話し始めました。正直、話す意欲は削がれていました。一応、聞いてくれる子どものために話は進めましたが、なんとも後味の悪い挨拶となりました。

お分かりと思いますが、ざわついていたのは保護者です。子どもはさすがに静かにしていました。子どもは TPO が分かっていたようですが、保護者は NO でした。「いま」「ここで」「なにが行われているのか」自覚ができていないのです。何を目くじら立てているんだという人もいるかもしれません。しかし、事務局も会が終了してから、うるさいのが気になって仕方なかったと言っていました。

これには伏線があります。去年もこの場に立った私は、ギャラリーを怒鳴りつけました。しかし、反省は活かされず（学習されておらず）、今年度はさらにヒートアップしたざわつきでしたので、「だんまり」となった次第です。効き目があったとは思いません。なんか雰囲気が違うぞ程度で一応黙ったという感じでした…。

大人が進める会ならいざ知らず（本当はそれでは困るのですが）、子どもが進めているにも拘わらず、しゃべり続ける神経が私には分からない。送り迎えは大変だろうが、だからといって、発会式で大騒ぎして言い理屈にはならない。

問題は、この空気が読めない大人の状態を子どもたちがちゃんと観ているということです。人的環境がこれでいいはずがありません。二十年後に子どもたちが、同じような行動に出ても何らおかしくはありません。何のために貴重な時間を割いて、スポ少に参加するのでしょうか。些細なことかもしれませんが、子どもを取り巻く世の中がおかしくなるには、こうした些細なことが積み重なるからではないでしょうか（もしかしたら、それがおかしいとさえ思っていないかもしれません）。

しかし、子どもへの悪影響阻止のためにも、このような間違った人的環境は正さねばなりません。それには少しでも「おかしいのではないか」と感じる感覚を大事にし、相互に正し合うことを続けるしかない。子どものためになることに対して、耳を貸さない保護者はいない（はず）。外（私）から言われて気に入らないのなら、子どもを通じて言って聞かせるか、内から正す（今回のように『待つ』）ことを積み重ね、心に訴えるしかない。この状況を何とか解決するのに、誰かを頼るようではこの先も覚束ない。大人の自覚と改心に期待します、未来ある子どものために…。



平成31年度 教育委員会関係委員(校長会選出)

委員会名	任期	会議回数	選出役職	旧役員名	学校名	新役員名	学校名	摘要	
市内校長会長	1年		校長代表	藤澤 義富	赤穂中学校	宮澤 賢司	東中学校	校長	
社会教育委員	30・31年度	5回	校長代表	藤澤 義富	赤穂中学校	宮澤 賢司	東中学校	校長	
図書館協議会委員	31・32年度	3回	校長代表	霜田 里美	中沢小学校	酒井 直彦	中沢小	校長	
赤穂公民館運営審議会委員	31・32年度	3回	小学校長代表	飯澤 隆	赤穂小学校	高嶋 義人	赤穂小学校	校長	
			中学校長代表	藤澤 義富	赤穂中学校	藤澤 義富	赤穂中学校	校長	
青少年問題協議会委員	1年	1回	校長代表	宮澤 賢司	東中学校	宮澤 賢司	東中学校	校長	
			生徒指導代表	北島 茂充	東中学校	小山 美香子	東中学校		
人権教育推進協議会 常任委員	1年	2回	小学校長代表	大槻 久	赤穂南小学校	大槻 久	赤穂南小学校	校長	
			中学校長代表	宮澤 賢司	東中学校	宮澤 賢司	東中学校	校長	
ふれあいキャンプ 推進会議委員	1年	1回	小学校長代表	飯澤 隆	赤穂小学校	高嶋 義人	赤穂小学校	校長	
			中学校長代表	藤澤 義富	赤穂中学校	藤澤 義富	赤穂中学校	校長	
スポーツ少年団 本部員会	1年	4回	小学校代表	米田 真也	赤穂小学校	米田 真也	赤穂小学校		
			中学校代表	酒井 剛	赤穂中学校	山本 龍孔	赤穂中学校		
性教育プロジェクト 専門委員	31・32年度	6回	小学校長代表	片桐 健	赤穂東小学校	片桐 健	赤穂東小学校	校長	
			中学校長代表	宮澤 賢司	東中学校	宮澤 賢司	東中学校	校長	
			養護教諭代表(小)	田中 明子	中沢小学校	田中 明子	中沢小学校		
			養護教諭代表(中)	片桐 美佐喜	赤穂中学校	片桐 美佐喜	赤穂中学校		
国際理解教育	1年		赤穂南小教頭	田中 智之	赤穂南小学校	田中 智之	赤穂南小学校	南小教頭	
キャリア教育 推進協議会	1年	2回	小学校 (代表1名:校長)	中村 豊	中沢小学校	中村 豊	中沢小学校	教頭	
				沼野 俊彦	赤穂小学校	沼野 俊彦	赤穂小学校	教頭	
				小林 みゆき	赤穂東小学校	丸山 剛生	赤穂東小学校	教頭	
				大槻 久	赤穂南小学校	大槻 久	赤穂南小学校	校長	
			曾我 利恵子	東伊那小学校	曾我 利恵子	東伊那小学校	教頭		
			中学校 (代表1名:校長)	藤澤 義富	赤穂中学校	藤澤 義富	赤穂中学校	校長	
				加藤 敬一	赤穂中学校	長坂 和紀	赤穂中学校	教頭	
			つくし園連絡調整 及び運営委員会	1年	2回	小学校長代表	片桐 健	赤穂東小学校	片桐 健
小学校教頭代表	小林 みゆき	赤穂東小学校				丸山 剛生	赤穂東小学校	教頭	
危機管理委員会	1年		教頭	特別支援教育コーディネーター代表	城倉 知己	東中学校	小平 哲	東中学校	
				沼野 俊彦	赤穂小学校	沼野 俊彦	赤穂小学校	教頭	
				小林 みゆき	赤穂東小学校	丸山 剛生	赤穂東小学校	教頭	
				田中 智之	赤穂南小学校	田中 智之	赤穂南小学校	教頭	
				中村 豊	中沢小学校	中村 豊	中沢小学校	教頭	
				曾我 利恵子	東伊那小学校	曾我 利恵子	東伊那小学校	教頭	
				加藤 敬一	赤穂中学校	長坂 和紀	赤穂中学校	教頭	
				村松 晋		村松 晋		教頭	
伊藤 美佐子	東中学校	清水 慶一	東中学校	教頭					

平成31年度 教育委員会関係委員(校長会選出)

委員会名	任期	会議回数	選出役職	旧役員名	学校名	新役員名	学校名	摘要
市指定研修 実行委員長	1年		校長会代表	宮澤 賢司	東中学校	高嶋 義人	赤穂小学校	委員長
				飯澤 隆	赤穂小学校	堀内 克敏	東伊那小学校	副委員長
学力向上検討委員会	1年	全体2回 のほか 各小委員 会を複数 回	教頭含め赤穂地区は 1校3名、竜東地区は 1校2名(H28～)	沼野 俊彦	赤穂小学校	沼野 俊彦	赤穂小学校	教頭
				鈴木 美穂子		中原 加代子		キャリア
				八坂 慎太郎	赤穂東小学校	八坂 慎太郎	赤穂東小学校	学力
				小林 みゆき		丸山 剛生		教頭
				佐々木 浩	赤穂南小学校	片桐 操	赤穂南小学校	キャリア
				倉田 優		倉田 優		学力
				田中 智之	赤穂南小学校	田中 智之	赤穂南小学校	教頭
				埋橋 由佳		高橋 雅		キャリア
				渡邊 由紀	中沢小学校	平澤 真美	中沢小学校	学力
				中村 豊		中村 豊		教頭
				宮下 直哉	東伊那小学校	宮下 直哉	東伊那小学校	学力
				曾我 利恵子		曾我 利恵子		教頭
				伊藤 通子	赤穂中学校	伊藤 通子	赤穂中学校	学力
				加藤 敬一		長坂 和紀		教頭
				村松 晋	東中学校	村松 晋	東中学校	教頭
				岡宮 隆吉		岡宮 隆吉		学力
伊藤 美佐子	東中学校	清水 慶一	東中学校	教頭				
大槻 尚		藤井 篤徳		学力				
情報化推進委員	1年	4回 程度		小田切 宏久	赤穂小学校	北澤 優子	赤穂小学校	
				上原 文司	赤穂東小学校	上原 文司	赤穂東小学校	
				廣田 克也	赤穂南小学校	廣田 克也	赤穂南小学校	
				矢崎 貴之	中沢小学校	矢崎 貴之	中沢小学校	
				矢澤 純子	東伊那小学校	佐々木 正志	東伊那小学校	
				田畑 章司	赤穂中学校	遠山 裕夫	赤穂中学校	
				堀内 一徳	東中学校	田口 智一	東中学校	
環境市民会議	30・31年度		校長会代表	堀内 克敏	東伊那小学校	堀内 克敏	東伊那小学校	校長
男女共同参画審議会	30・31年度	2回	校長会代表	霜田 里美	中沢小学校	酒井 直彦	中沢小	校長
子ども・子育て会議	1年	4～5回	小学校代表	片桐 健	赤穂東小学校	片桐 健	赤穂東小学校	校長
食育推進委員	1年	2回	小中学校代表	小林 みゆき	赤穂東小学校	丸山 剛生	赤穂東小学校	教頭
通学路安全推進会議	1年	2回	校長会代表	藤澤 義富	赤穂中学校	藤澤 義富	赤穂中学校	校長
社会科資料集「わたしたちの駒ヶ根市」編集委員	1年	数回	小学校代表	中村 豊	中沢小学校	中村 豊	中沢小学校	編集委員長
				宮脇 正実	赤穂小学校	宮脇 正実	赤穂小学校	小委員長
				上原 文司	赤穂東小学校	上原 文司	赤穂東小学校	小委員長

平成31年度 教育委員会関係委員(校長会選出)

委員会名	任期	会議回数	選出役職	旧役員名	学校名	新役員名	学校名	摘要
小中学校 読育推進連絡会	1年	1~2回	司書教諭 又は 読書活動推進担当 及び 学校図書館司書	田中 由里	赤穂小学校	田中 由里	赤穂小学校	司書
				澤田 知穂		澤田 知穂		
				長谷川 菓苗	赤穂東小学校	後藤 奈穂美	赤穂東小学校	司書
				唐澤 恵里奈		米山 篤美		
				平澤 真美	赤穂南小学校	平澤 真美	赤穂南小学校	司書
				米山 篤美		鈴木 千鶴		
				山田 あかり	中沢小学校	馬場 由香里	中沢小学校	司書
				栗林 香織		栗林 香織		
				北原 美和子	東伊那小学校	北原 美和子	東伊那小学校	司書
				小林 恵子		小林 恵子		
				原 聖一	赤穂中学校	原 聖一	赤穂中学校	司書
				中坪 三佳		中坪 三佳		
				桑原 丈	東中学校	桑原 丈	東中学校	司書
北川原 あゆみ	北川原 あゆみ							
外国語教育委員会	1年	複数回	校長代表	大槻 久	赤穂南小学校	大槻 久	赤穂南小学校	校長
			小中学校担当	原 真由美	赤穂小学校	柏木 由香	赤穂小学校	
				有岡 麻美	赤穂東小学校	有岡 麻美	赤穂東小学校	
				田中 菜美子	赤穂南小学校	田中 菜美子	赤穂南小学校	
				高橋 康祐	中沢小学校	山田 あかり	中沢小学校	
				中野 孝之	東伊那小学校	中野 考之	東伊那小学校	
				渡邊 和代	赤穂中学校	伊藤 有子	赤穂中学校	
				鈴木 雅美	東中学校	熊谷 未櫻	東中学校	
(一財)駒ヶ根市給食財団 評議員	4年	2回程度	学校給食センター単位に 代表者2名(教職員及び 保護者の代表者各1名)	飯澤 隆	赤穂小学校	高嶋 義人	赤穂小学校	校長
			大槻 久	赤穂南小学校	大槻 久	赤穂南小学校	校長	
			宮澤 賢司	東中学校	宮澤 賢司	東中学校	校長	

平成31年度 教育委員会関係委員(校長会選出)

委員会名	任期	会議回数	選出役職	旧役員名	学校名	新役員名	学校名	摘要
校長会分担								
			内 容	H30年度	学校名	H31年度	学校名	市指定研修実行委員 ↓ ②⑧中沢小 ↓ ②⑨赤穂南小 ↓ ②⑩東中 ↓ ③⑩赤穂小 ↓ ③⑫東伊那小 ↓ ③⑬赤穂東小 ↓ ③⑭赤穂中
			学力・体力向上とキャリア教育(学力向上検討委員会・スポーツ推進計画の推進)	大槻 久	赤穂南小学校	大槻 久	赤穂南小学校	
			不登校児童生徒支援と発達障がい支援(不登校児童生徒支援委員会の充実)	宮澤 賢司	東中学校	宮澤 賢司	東中学校	
			食育推進(「自分で作るお弁当の日」の実施・第2次食育推進計画の推進)	堀内 克敏	東伊那小学校	堀内 克敏	東伊那小学校	
			読育(よみいく)推進(第二次子ども読書活動推進計画の推進)	霜田 里美	中沢小学校	高嶋 義人	赤穂小学校	
			国際理解教育(青年海外協力隊駒ヶ根訓練所との交流・中学生の海外派遣)	霜田 里美	中沢小学校	酒井 直彦	中沢小学校	
			防災教育と防災マニュアル(各学校防災要項の策定・救急救命、地域支援活動外)	大槻 久	赤穂南小学校	大槻 久	赤穂南小学校	
			幼児教育と幼保小中連携(幼児教育指針の策定、幼児幼年教育会議の充実)	藤澤 義富	赤穂中学校	藤澤 義富	赤穂中学校	
			学校と地域の連携(コミュニティスクールの導入)	片桐 健	赤穂東小学校	片桐 健	赤穂東小学校	
				飯澤 隆	赤穂小学校	宮澤 賢司	東中学校	

## 4月分 教育委員会事務事業計画

2019年4月11

曜日	時刻	事業内容	摘要
1	8:20	幼・保育園職員顔合わせ会[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課
	8:40	新任校長・教頭、市長懇談会[応接室]	教育長、次長、子ども課
	9:00	市職員辞令交付式[大会議室]	全職員
	終了後	庁議[応接室]	教育長、次長
	11:30	公民館長辞令交付[教育長室]	教育長、次長、社会教育課
	13:30	部課長会[大会議室]	教育長、次長、両課長
	15:00	転入教職員歓迎の会[南庁舎大会議室]	教育委員、教育長、次長、両課長
2	13:30	教育委員会事務局部内会議[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課、社会教育課、公民館
	18:30	スポーツ少年団発会式[市民体育館]	教育長、次長、社会教育課
3		市内保育園・幼稚園入園式[各園]	教育長、子ども課
	19:00	郷土芸能まつり実行委員会[文化センター]	社会教育課
4		Am市内小学校入学式 Pm市内中学校入学式[各校]	教育委員、教育長
	9:15	駒ヶ根工業高校入学式[高校]	次長
		つくし園はじめの会[つくし園]	子ども課
	10:00	赤穂高校入学式[高校]	子ども課長
	15:30	各部仕事目標理事者懇談[応接]	教育長、次長
5	9:30	伊那養護学校入学式[伊那養護]	教育長
	13:30	合同園長会[保健センター第1会議室]	教育長、次長、子ども課
6	13:30	かっぱ館オープンセレモニー[おもしろかっぱ館]	教育長、社会教育課
7			
8	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
	10:00	聖マルチン幼稚園入園式[幼稚園]	子ども課長
	14:30	新区長会[大会議室]	教育長、次長、両課長
9	9:00	市内校長会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
	13:30	光前寺庭園整備活用委員会[光前寺]	教育長、社会教育課
	18:30	スポーツ推進委員会[ ]	教育長、次長、社会教育課
10			
11			
12			
	14:10	民生児童委員協議会	子ども課長
13			
14			
15	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
	14:00	教頭・事務職員会議[南庁舎大会議室]	教育長、子ども課
16	16:00	市町村教育委員会連絡会[伊那合庁]	教育長、職務代理
17			
18	9:00	会計検査(文科省関係)[南庁舎大会議室]	次長、子ども課
	19:00	市育成委員会研修総会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、社会教育課
19	18:00	JICA学校交流説明会[JICA]	子ども課
20			
21		市議会選挙	
22	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
	14:00	定例教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
	18:30	市町村対抗駅伝激励会[ ]	教育長、次長、社会教育課
23	13:30	部課長会[大会議室]	教育長、次長、両課長
	13:30	市町村教育委員会連絡会[伊那合庁]	教育長、職務代理、両課長
	14:30	県教育行政説明会	教育長、職務代理、両課長
24	18:30	体育協合理事会[南庁舎大会議室]	次長、社会教育課
25	13:30	文化財団会計監査会[文化センター]	社会教育課
	18:30	スポーツ少年団代議員総会[保健センター大会議室]	教育長、次長、社会教育課
26	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
	13:00	給食財団監査会[本庁第2会議室]	教育長、子ども課
	15:00	総合教育会議[本庁大会議室]	教育委員、市長、教育長、次長、両課長ほか
	16:45	保育協会定期総会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
27	9:00	こどもまつり[文化センター]	教育長、次長、子ども課
		市町村対抗駅伝[松本市]	教育長、社会教育課
28			
29	16:00	福岡区十二天の森を守る会[公道館]	教育長、次長、社会教育課

## 5月分 教育委員会事務事業計画

2019年4月

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	水		即位の日	
2	木			
3	金			
4	土			
5	日			
6	月			
7	火	9:30	市内校長会[赤穂小]	教育長、次長、両課長
		14:00	用務員連絡会[南庁舎大会議室]	教育長、子ども課
		16:00	学力検討委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課
8	水	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
		10:00	ふれあいキャンプ運営委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、社会教育課
		13:30	園長会[保健センター第1会議室]	子ども課
		15:00	文化財団理事会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
9	木	10:00	議会全員協議会[第5会議室]	教育長、次長
		13:15	関東地区都市教育長協議会総会[松本市]~10日	教育長
10	金	14:10	民生児童委員協議会	子ども課長
11	土	7:45	市ジュニア陸上競技記録会[赤穂中学校]	教育長、次長、社会教育課
12	日			
13	月		臨時議会(開会)[議場]	教育長、次長
14	火	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
		18:30	天竜かっぱ広場運営委員会[おもしろかっぱ館]	教育長、社会教育課
15	水		臨時議会(閉会)[議場]	教育長、次長
16	木	11:00	給食財団理事会[南庁舎大会議室]	教育長、子ども課
17	金	14:00	文化財審議会[現地]	教育長、次長、社会教育課
18	土			
19	日			
20	月	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
		11:30	給食財団評議員会[赤穂南学校給食センター]	教育長、次長、子ども課
		16:15	幼児幼年教育研究会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
21	火		キャリア教育産学官交流会[宮田]	
		19:00	郷土芸能まつり実行委員会[文化センター]	社会教育課
22	水		全国都市教育長会議[富山] ~5/24	教育長
		18:30	体育協会評議員会[アルパ]	次長、社会教育課
23	木			
24	金	16:00	博物館専門研究員合同会議[文化センター]	教育協、次長、社会教育課
25	土			
26	日			
27	月	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
		15:30	特別支援教育支援員連絡会[保健センター第2会議室]	子ども課
28	火	10:00	上伊那市町村教育委員会連絡会[伊那合庁]	教育長、教育長職務代理
		15:30	文化財団評議員会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
29	水	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
		14:00	定例教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
30	木			
31	金	9:00	長野県中学校校長会研究協議会 上伊那大会[文化センター]	
			関東甲信越市町村教委総会・研修会[山梨県]	教育長職務代理

## 駒ヶ根市就園・就学支援委員会委員の任命について

駒ヶ根市附属機関に関する条例第2条の規定に基づき、駒ヶ根市就園・就学支援委員会委員として下記のとおり任命するものとする。

平成31年4月22日  
駒ヶ根市教育委員会  
教育長 本多 俊夫

## 記

## 1 氏名等

氏名	勤務先等	備考
鈴木 敏洋	昭和伊南総合病院	小児科医
蓑和 路子	長野県立こころの医療センター駒ヶ根	医監（精神保健指定医）
清水 多加志	子ども課	保育カウンセラー
石村 真利子	〃	発達支援コーディネーター
坂本 虎雄	昭和伊南総合病院	言語聴覚士
高嶋 義人	赤穂小学校	校長
片桐 健	赤穂東小学校	〃
大槻 久	赤穂南小学校	〃
酒井 直彦	中沢小学校	〃
堀内 克敏	東伊那小学校	〃
藤澤 義富	赤穂中学校	〃
宮澤 賢司	東中学校	〃
湯澤 武	長野県伊那養護学校	教諭
下平 生美	北割保育園	園長
小出 美紀	美須津保育園	〃
伊藤 俊子	赤穂保育園	〃
鈴木 三和子	飯坂保育園	〃
清水 恵美	経塚保育園	〃
上久保真須美	中沢保育園	〃
下島 美恵子	東伊那保育園	〃
小澤 明子	すずらん保育園	〃
小原 千鶴	赤穂南幼稚園	〃
松澤 真弓	下平幼稚園	〃
窪田 久美	福岡保育園	〃
北原 節子	桜ヶ丘保育園	〃

高木 優子	聖マルチン幼稚園	園長
黒澤 利恵	つくし園	〃
宮下 志保	子ども課	保健師
小林 克彦	〃	指導主事
酒井 美鈴	〃	家庭児童相談員
杉岡 典子	〃	〃
矢澤 ちづる	〃	教育相談員
小野 教子	〃	〃

2 任命年月日 平成31年4月1日

3 任期 平成31年4月1日から平成33年3月31日まで

## 駒ヶ根市立赤穂小学校学校運営協議会委員の任命について

駒ヶ根市学校運営協議会規則(平成 25 年教育委員会規則第 3 号)第 7 条の規定に基づき、下記の者を赤穂小学校学校運営協議会委員に任命する。

平成 31 年 4 月 22 日  
駒ヶ根市教育委員会  
教育長 本多 俊夫

## 記

## 1 氏名等

氏名	備考
中村 雅典	元区長(中割区)
前原 達之	元区長(上穂町区)
大林 基春	区長代表(北割 2 区)
竹内 鉄夫	前区長代表(北割 1 区)
佐藤 順子	主任児童委員
水上 健	P T A 会長
上野 好弘	P T A 副会長
佐野 由紀恵	P T A 副会長
米山 弘	有識者
北原 宏	有識者
小澤 明子	有識者
塩澤 寿一	有識者(元 P T A 会長)
生田 治	有識者(元 P T A 会長)
宇佐見 誠	有識者
片桐 美登	社会教育委員長
高嶋 義人	校長
沼野 俊彦	教頭
田中 由里	教務主任
北澤 幸雄	コミュニティ・スクール担当

2 任命年月日 平成 31 年 4 月 1 日

3 任期 2019 年(平成 31 年) 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

駒ヶ根市社会教育委員の委嘱について

社会教育法第 15 条第 2 項及び駒ヶ根市社会教育委員条例（昭和 59 年条例第 5 号）第 1 条の規程により、下記の者を駒ヶ根市社会教育委員に委嘱する。

平成 31 年 4 月 22 日

駒ヶ根市教育委員会  
教育長 本多俊夫

記

1 氏名等

氏名	住所	備考
宮澤 賢司	駒ヶ根市東伊那 966-1	学校教育関係者

2 委嘱年月日 平成 31 年 4 月 1 日

3 任期 平成 31 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日

## 公民館運営審議会委員の委嘱について

社会教育法第30条及び駒ヶ根市公民館条例（昭和54年条例第24号）第5条の規程により、下記の者を公民館運営審議会委員に委嘱する。

平成31年4月22日

駒ヶ根市教育委員会  
教育長 本田 俊夫

## 記

## 1 駒ヶ根市立赤穂公民館

氏名	選出区分	役職名等
藤澤 義富	学校教育関係者	赤穂中学校長
高嶋 義人	〃	赤穂小学校長
永井 由美子	家庭教育関係者	子育てサークル代表
塩澤 綾乃	〃	元長野県看護大学助教、 助産師
塩澤 正明	学識経験者	市区長会 (平成31年度上穂町区長)
下島 順一	〃	前町1区長、元高校教師
北原 陽子	〃	民生児童委員、講座指導者
倉田 文和	〃	駒ヶ根市立博物館専門研究員、元分館長
佐藤 和樹	〃	元駒ヶ根青年会議所理事長、 赤穂東小コミュニティスクールコーディネーター
片桐 美登	社会教育関係者	社会教育委員、元分館長
山本 美子	〃	社会教育委員
春日 賢治	〃	文化団体協議会 会長
肥野 京二	〃	文化団体協議会 副会長
梶田 ひと美	〃	元赤穂公民館指導員、元分館長
小林 眞澄	〃	主催講座指導者

2 駒ヶ根市立中沢公民館

氏 名	選 出 区 分	役 職 名 等
酒 井 直 彦	学校教育関係者	中沢小学校長
林 寛 道	家庭教育関係者	平成 31 年度中沢小学校 P T A 会長
坂 井 昌 平	学 識 経 験 者	平成 31 年度中沢区長
山 口 雅 輝	〃	農園 雅 代表、 学習支援ボランティア
平 沢 智 明	社会教育関係者	平成 30 年度分館長会長
菅 沼 忠 良	〃	中沢体育協会 会長
春 日 利 子	〃	文化団体指導者
木 下 亜 紀	〃	主催学級 中沢夢倶楽部代表
小 島 幸 恵	〃	平成 31 年度分館長会長
木 下 健 一	〃	社会教育委員、中沢青年部副 会長

3 駒ヶ根市立東伊那公民館

氏 名	選 出 区 分	役 職 名 等
堀 内 克 敏	学校教育関係者	東伊那小学校長
馬 場 幸 美	〃	元親子文庫役員
林 省 史	学 識 経 験 者	平成 31 年度東伊那区長
竹 村 芳 博	〃	民生児童委員
中 村 美 穂	〃	健康運動指導士、主催講座等 指導者
坂 井 た つ 子	社会教育関係者	社会教育委員
河 口 芳 美	〃	東伊那体育協会長
木 下 和 彦	〃	元分館長会長
森 田 善 雄	〃	元主事会長
福 澤 博	〃	文化団体関係者

4 委嘱年月日 平成 3 1 年 4 月 1 日

5 任 期 平成 3 1 年 4 月 1 日から平成 3 3 年 3 月 3 1 日

平成31年度 公民館運営審議会委員名簿

平成31年4月1日現在

(敬称略)

氏名	選出区分	役職名等
藤澤 義富	学校教育関係者	赤穂中学校長
○高嶋 義人	学校教育関係者	赤穂小学校長
永井 由美子	家庭教育関係者	子育てサークル代表
○塩澤 綾乃	家庭教育関係者	元長野県看護大学看護学部助教、助産師
○塩澤 正明	学識経験者	平成31年度 市区長会 (上穂町区長)
下島 順一	学識経験者	前町1区長、元高等学校教員
北原 陽子	学識経験者	民生・児童委員、主催講座指導者
倉田 文和	学識経験者	駒ヶ根市立博物館専門研究員、元分館長
佐藤 和樹	学識経験者	元駒ヶ根青年会議所理事長、赤穂東小学校コミュニティスクールコーディネーター
片桐 美登	社会教育関係者	社会教育委員、元分館長
山本 美子	社会教育関係者	社会教育委員
春日 賢治	社会教育関係者	赤穂公民館文化団体協議会会長
肥野 京二	社会教育関係者	赤穂公民館文化団体協議会副会長
梶田 ひと美	社会教育関係者	元赤穂公民館社会教育指導員、元分館長
小林 眞澄	社会教育関係者	主催講座指導者

※ ○印の方は、新任の委員さんです。

駒ヶ根市立中沢公民館

平成31年度 公民館運営審議会委員名簿

平成31年4月1日現在

(敬称略)

氏名	選出区分	役職名等
○ 酒井 直彦	学校教育関係者	中沢小学校長
○ 林 寛道	家庭教育関係者	平成31年度 中沢小学校PTA会長
○ 坂井 昌平	学識経験者	平成31年度 中沢区長
○ 山口 雅輝	学識経験者	【農園 雅】代表、 学習支援ボランティア
平沢 智明	社会教育関係者	平成30年度□分館長会長
菅沼 忠良	社会教育関係者	中沢体育協会会長
○ 春日 利子	社会教育関係者	文化団体指導者
○ 木下 亜紀	社会教育関係者	学級中沢夢倶楽部代表
○ 小島 幸恵	社会教育関係者	平成31年度 分館長会長
木下 健一	社会教育関係者	社会教育委員、 中沢青年部副会長

※○印の方は、新任の委員さんです。

駒ヶ根市立東伊那公民館

平成31年度 公民館運営審議会委員名簿

平成31年4月1日現在

(敬称略)

氏名	選出区分	役職名等
堀内 克敏	学校教育関係者	東伊那小学校長
○馬場 幸美	家庭教育関係者	元親子文庫役員
○林 省史	学識経験者	平成31年度東伊那区長
竹村 芳博	学識経験者	民生・児童委員
○中村 美穂	学識経験者	健康運動指導士、 主催講座指導者
坂井 たつ子	社会教育関係者	社会教育委員
○河口 芳美	社会教育関係者	体育協会会長
木下 和彦	社会教育関係者	元分館長会長
○森田 喜雄	社会教育関係者	元主事会長
福澤 博	社会教育関係者	文化団体関係者

※ ○印の方は、新任の委員さんです。

# 平成31年度(2019年度) 当初予算の概要

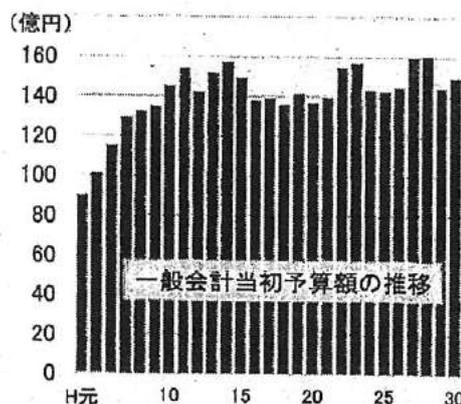
## 交流と支え合いで創る「地域共生推進予算」

### 1 当初予算規模

平成31年度(2019年度)当初予算	前年度当初比較	
	増減額	増減率
一般会計	155億5,900万円	+5億8,500万円 +3.9%
特別・企業会計	108億7,819万円	+4億9,269万円 +4.7%
合計	264億3,719万円	+10億7,769万円 +4.2%

### 2 一般会計当初予算

- 事業規模は前年度当初比で5億8,500万円、3.9%増加となった。主な要因は地域交流センター等整備や扶助費の伸びなどであるが、事業見直しや歳出の抑制を図り、最小限の増額に抑えた。
- 市債の発行予定額も必要最小限とした。



#### (1) 歳入

- 主要一般財源総額  
前年度当初比3,390万円、0.4%増
- 財源不足分として基金を9,000万円取り崩した。

#### (2) 歳出(主な新規・拡充事業)

- 建設投資  
地域交流センター(赤穂公民館)等整備、駒ヶ根駅前広場の整備、中割経塚線整備 など
- 青年海外協力協会連携事業
- オリンピック・パラリンピックホストタウン事業
- JICAと連携した語学キャンプ、JICA訓練所40周年記念事業
- 地域林政アドバイザー配置
- 駒ヶ根高原再整備計画(ランドデザイン)策定
- 学校ICT整備(パソコン更新、大型提示装置の配置)
- 保育園へのエアコン設置
- 産後ケア事業の充実  
母乳チケットの充実、産婦健康診査の実施
- 災害に強いまちづくり  
ブロック塀除去事業、用悪水路調査
- 空家バンク片付け補助、移住就業・起業支援事業
- 地域定着奨学生支援事業
- NPOや地域住民と連携した介護予防・認知症対策・生活支援事業等

【参考】平成30年度補正予算による繰越事業

繰越明許費	7億8,047万円
小中学校等へのエアコン設置	5億9,100万円
都市計画街路事業(中割経塚線)	1億3,700万円
その他	5,247万円

### 3 財政健全化

- 財政調整基金を当初予算で2,000万円積み増し。執行管理を徹底し更に増額してく予定
- 市債残高は平成30年度末見込みから1億円以上減少。公債費も2,000万円以上減少する見込み
- 事業見直しについては、一般会計で1,050万円、介護特会で60万円見直しを実施

## 主な新規事業・拡充事業（第4次総合計画分類）

### 重点プロジェクト

新規	地域定着奨学生支援事業	50万円
拡充	青年海外協力協会連携事業	1,044万円
拡充	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業	237万円
拡充	JICAと連携した語学キャンプ	150万円

### 【産業振興と雇用の確保】

新規	地域林政アドバイザー配置	339万円
新規	中小企業人材育成事業	30万円
新規	駒ヶ根高原再整備計画(グラウンドデザイン)策定	600万円
新規	中央アルプス危機管理計画策定	60万円
継続	駒ヶ根駅前広場整備	1億8,000万円
新規	空家バンク片付け補助	50万円
新規	移住就業・起業支援事業	200万円

### 【子育て・教育】

新規	学校ICT機器整備(パソコン更新、大型提示装置導入)	561万円
新規	保育園へのエアコン設置(小中学校・幼稚園はH30繰越事業)	600万円
拡充	産後ケア事業	109万円
新規	産婦健康診査	250万円

### 【防災・防犯】

継続	ブロック塀除却事業	100万円
新規	用悪水路調査	100万円

### 【都市基盤整備・景観・環境保全】

新規	第36回全国都市緑化信州フェア出展	38万円
新規	市民プール跡地整備	4,110万円
拡充	屋外広告物の適合化・高質化	500万円

### 【福祉・保健・医療】

拡充	【介護特会】介護予防・生活支援サービス事業	5,271万円
拡充	【介護特会】生活支援体制整備事業	1,026万円
拡充	【介護特会】認知症総合支援推進事業	761万円
新規	一人暮らし高齢者エアコン設置補助	10万円
拡充	精神保健・自殺対策事業	93万円
新規	風しん等予防事業	761万円

### 【生涯学習・文化・スポーツ振興】

継続	地域交流センター(赤穂公民館)等整備事業	14億2,685万円
継続	エル・システム事業	800万円

### 【協働・男女共同・コミュニティ】

新規	次期総合戦略策定	50万円
新規	個別施設計策策定調査	100万円
新規	JICA駒ヶ根訓練所40周年記念事業	15万円

## 主要事業 ～新規・拡充事業を中心に掲載～

- 1 第4次総合計画基本構想の基本目標・基本政策別に分類しています。
- 2 予算額は行政サービスメニュー版に準じて記載、事業内容欄には特徴的な事業とその事業費を記載しています。

(単位 千円)

No. 事業名	予算額	事業内容
<b>重点プロジェクト</b>		
<b>2 生涯活躍のまち推進</b>		
1 青年海外協力協会連携事業  (総務部 企画振興課)	10,438	青年海外協力協会(JOCA)と連携したまちづくりに取り組みます。  ⑨ 生涯活躍のまち推進事業 5,000 ⑨ 企業と連携した新しい人の流れづくり事業 1,200 ⑨ 地域おこし協力隊活用事業 2,988
2 中央アルプス山麓の開発事業  (総務部 企画振興課)	1,732	中央アルプス山麓一帯の魅力づくり、新たな観光資源・交流の場づくりを目指し具体化を図ります。  ・ レンタサイクル実証事業補助 235 ⑨ JICA訓練所と連携した語学キャンプ 1,497
<b>3 子育て支援と教育環境の充実</b>		
3 少子化対策事業  (総務部 企画振興課)	13,715	若い世代の定住や地域定着に向けた支援を実施します。  ・ 若者住宅取得補助事業 7,000 ⑨ 地域定着奨学生支援事業 500

<b>基本目標1【産業振興と雇用の確保】活力あふれる産業のまちづくり</b>		
<b>基本政策1-1 地域資源を活かした農林業の振興を進めます</b>		
4 農地事業  (産業部 農林課)	100,314	水田の利活用促進に必要な基盤整備を進め、営農条件を改善し農作業の効率化を図ります。  ・ 多面的機能支払交付金事業 100,314
5 農業基盤整備事業  (産業部 農林課)	23,677	営農条件の整備と作業の効率化・農地の集約化に向けて、農業基盤の整備を進めます。  ・ 県営圃場整備事業(宮の前地区) 23,677

No. 事業名	予算額	事業内容
6 農業担い手や後継者の育成確保対策  (産業部 農林課)	7,801	魅力ある地域農業の創出に向け、担い手や新規就農者を育成するとともに、集落営農の法人化を支援します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業制度資金利子補給事業 151</li> <li>・ 農業次世代人材投資資金 6,750</li> <li>・ 農業インターン事業 900</li> </ul>
7 6次産業化の推進  (産業部 農林課)	1,905	特産品づくりや新商品の開発・ブランド化、販路開拓・流通体制の整備、団体への支援や研究開発を推進します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伊那谷アグリノベーション(信州大学共同研究) 300</li> <li>・ ごまプロジェクト 105</li> <li>・ 6次産業化推進事業補助 1,000</li> <li>・ 二条大麦栽培・特色ある農業研究 500</li> </ul>
8 農村地域の活性化  (産業部 農林課)	69,529	中山間地域の振興と地域ぐるみの農村環境の保全に取り組み、農業と共生できる地域社会を構築します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中山間地域等直接支払制度事業 69,529</li> </ul>
9 森林整備の計画的な推進  (産業部 農林課)	28,111	森林の持つ多面的機能を持続的に発揮できるよう、計画的な森林整備を進めます。  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域林政アドバイザー設置 3,393</li> <li>● 森林整備意向調査 2,000</li> <li>・ 森林整備促進対策事業 2,364</li> <li>・ 林道改良事業 林道古城線 20,354</li> </ul>

基本政策1-2 魅力と賑わいのある商業の振興を進めます

10 商店街活性化事業  (産業部 商工振興課)	2,000	中心市街地の空き店舗活用の促進と商店街駐車場の運営を支援します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き店舗等活用補助 1,510</li> <li>・ 商店街駐車場運営支援 490</li> </ul>
11 市街地再生推進事業  (産業部 商工振興課)	11,300	中心市街地の再生、賑わいあふれるまちづくりに向けて、地元や関係機関と一緒に取り組めます。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域おこし協力隊 3,300</li> <li>・ アクションプラン実践者への補助 1,000</li> <li>・ 中心市街地再生推進業務委託 7,000</li> </ul>

No. 事業名	予算額	事業内容
12 駒ヶ根駅前広場整備  (建設部 都市計画課)	180,000	地域公共交通の中心としての利便性の向上と安全確保、街なかが生活に便利な場所となるようJR駒ヶ根駅前広場を整備します。  ・ 駒ヶ根駅前広場整備 180,000

基本政策1-3 次世代につながるものづくり産業の振興を進めます

13 企業誘致推進事業  (産業部 商工振興課)	44,618	企業誘致活動を推進します。  ・ パンフレット作成、アンケート調査、企業訪問 1,708 ・ 特定地域工場設置補助 42,910
14 テレワーク推進事業  (産業部 商工振興課)	7,118	「駒ヶ根テレワークオフィス」の積極的な運用に努めます。  ・ 運営企業への事業補助、テレワークオフィスの運営 7,118

基本政策1-4 おもてなしと賑わいのある観光の振興を進めます

15 駒ヶ根高原再整備計画の推進  (産業部 観光推進課)	6,000	山岳高原の玄関口である駒ヶ根高原の再整備について、官民協働により構想を策定します。  ⑧ 駒ヶ根高原再整備計画(ランドデザイン)策定 6,000
16 観光地の危機管理対策  (産業部 観光推進課)	5,600	災害や事故等を想定した危機管理体制を検討し、計画策定や施設整備を行います。  ⑧ 中央アルプス危機管理計画策定 600 ⑧ こまくさの湯給湯施設改修 5,000
17 台湾台中市との交流事業  (産業部 観光推進課)	950	台湾台中市との友好交流覚書に基づいた交流や、インバウンド事業を行います。  ・ 交流・受入環境整備 950
18 日本版DMOの形成  (産業部 観光推進課)	2,144	多様な関係者の連携による観光地域づくりを進め、地域の稼ぐ力を引き出すことのできる仕組みづくりを推進します。  ・ 伊南DMO設立準備会、法人設立に向けた取り組み 1,146 ・ (一社)長野伊那谷観光局による広域観光戦略の策定等 998

No. 事業名	予算額	事業内容
19 移住交流促進事業  (産業部 商工振興課)	9,000	UIターン事業を推進し、地域活性化を図るため、情報発信による定住促進に取り組みます。  (新) 空家バンク片付け補助金 500 (新) 移住就業・起業支援事業補助金 2,000

基本目標2【子育て・教育】子どもたちが夢と希望にあふれるまちづくり

基本政策2-1 生きる力を育む学校教育を推進します

20 教科指導の強化  (教育委員会 子ども課)	23,058	学力向上や健やかな学校生活に向け、各種支援に必要な職員を配置します。  ・ 専科教員の配置 13,108 ・ 英語教育コーディネーター(兼ALT)の配置 2,710 ・ ALTの配置 7,240
21 特色ある学校づくり  (教育委員会 子ども課)	1,600	子どもたちの社会性、自主性、創造性等を涵養するとともに、地域の大人の積極的な参画・交流を図ります。  ・ 特色ある学校づくり補助 1,600
22 学校ICT機器整備事業  (教育委員会 子ども課)	5,611	学校ICT環境の整備を計画的に進めていきます。  (新) 小中学校パソコン教室端末更新 4,392 (新) 大型提示装置導入 1,219

基本政策2-2 健やかな育ちを支える幼児教育を推進します

23 子ども・子育て支援事業計画の推進  (教育委員会 子ども課)	1,672	幼児期における学校教育・保育・地域の子育て支援に対する計画を策定し、安心して子育てができる環境を整えます。  (新) 第2期子ども・子育て支援事業計画 1,672
24 自然体験事業の推進  (教育委員会 子ども課)	722	社会全体で子どもを育てる地域づくりや自然と触れ合う外遊びの機会を増やし、健やかな育ちを支援します。  ・ 十二天の森を活用した園外保育等 722
25 公立保育園・幼稚園の運営  (教育委員会 子ども課)	345,675	保育園・幼稚園運営を通じて、健やかな育ちを支援します。  (新) エアコン設置 6,000

No. 事業名	予算額	事業内容
基本政策2-4 安心して産み育てることができる環境づくりを進めます		
26 産後ケア事業の充実  (教育委員会 子ども課)	3,590	産後の母子の健康状態等に対する支援を行います。  <ul style="list-style-type: none"> <li>④ 母乳チケット配布 1,090</li> <li>⑧ 産婦健康診査 2,500</li> </ul>

基本目標3【防災・防犯】災害に強い安全・安心のまちづくり		
基本政策3-1 災害に強いまちづくりを進めます		
27 防災備蓄資機材整備  (総務部 危機管理課)	3,366	災害から住民の安全を守るため、防災・減災体制の整備等を行います。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災備蓄資機材の整備 2,366</li> <li>・ 自主防災備蓄資機材整備事業補助金 1,000</li> </ul>
28 ブロック塀除却事業  (建設部 都市計画課)	1,000	地震などによるブロック塀等の倒壊による通行人の被害を未然に防止し、安全を確保するための補助を行います。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブロック塀除却事業 1,000</li> </ul>
29 用悪水路調査  (建設部 建設課)	1,000	水害等を未然に防止するため、市内の用悪水路を調査し、危険箇所を把握し、管理方法等を検討します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>⑨ 用悪水路調査 1,000</li> </ul>

基本目標4【都市基盤整備・景観・環境保全】豊かな自然を守り、快適に暮らせるまちづくり		
基本政策4-1 人にやさしい快適な生活環境をつくります		
30 身近なインフラ整備の推進	509,100	快適で安全な生活環境をつくるため、身近な道路・橋等を計画的に整備します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>市道改良事業 36,000 <ul style="list-style-type: none"> <li>3-135号線(細田北)、南割町線、郷社線、</li> <li>1-578号線(経塚東)、1-504号線(小町屋)、</li> <li>1-181号線(公道館南)、1-280号線(大原)、</li> <li>1-510号線(わらべうたの小径)</li> </ul> </li> <li>道路舗装事業 160,500 <ul style="list-style-type: none"> <li>新春日街道線、大田切下平線、広小路小町屋線、</li> <li>中下り線、町東縦線、1-546号線(小城)、</li> <li>1-448号線(北町)、1-332号線(北割)、</li> <li>中割経塚線他</li> </ul> </li> <li>交通安全施設整備 133,000 <ul style="list-style-type: none"> <li>上穂本線(五十鈴町)、光前寺南線、</li> <li>安全柵・区画線・歩道バリアフリー対策(全域)</li> <li>歩道設置(新春日街道線)、</li> <li>菅沼線(中沢小)</li> </ul> </li> </ul>

No. 事業名	予算額	事業内容
(身近なインフラ整備の推進)  (建設部 建設課)		道路維持事業 37,600 道路維持(補修、除雪、樹木剪定・伐採) 道路維持補修工事 橋梁維持・長寿命化工事 142,000 維持補修、橋梁点検(市内全域) 長寿命化修繕(大田原橋)
31 市営住宅の管理  (建設部 都市計画課)	18,449	市営住宅と県営住宅の窓口一本化により、公営住宅サービスをワンストップ化します。  ： 県住宅供給公社への管理代行 18,449
32 市営住宅の長寿命化・ストック改善  (建設部 都市計画課)	36,450	市営住宅の快適な住環境の整備を図ります。  ・ 市営住宅の長寿命化事業 10,000 ・ 市営住宅のストック改善等 26,450
33 都市公園事業  (建設部 都市計画課)	41,480	市内公園施設の整備、維持管理等を行います。  ⑨ 第36回全国都市緑化信州フェア出展 380 ⑨ 市民プール跡地整備 41,100

#### 基本政策4-2 豊かな自然環境を守り育てます

34 家庭用生ごみ処理容器等 購入補助  (民生部 生活環境課)	1,990	生ごみ堆肥化事業の実証実験の結果を踏まえて、生ごみ回収は縮小して自家処理を促進します。  ・ 家庭用生ごみ処理容器等購入補助 1,990
--	-------	--

#### 基本政策4-3 高速交通網を見据えた都市基盤整備を進めます

35 高速交通網を見据えた都市 計画の推進  (建設部 都市計画課)	30,500	中割経塚線のバイパス西側工事のほか、道路整備プログラムに基づき道路網の構築を図ります。  ・ 街路事業 (都)中割経塚線 30,500
--	--------	---

#### 基本政策4-4 次世代に伝える景観づくりを進めます

36 屋外広告物の適合化・高質 化  (建設部 都市計画課)	5,000	景観に配慮した街並みを作るため、屋外広告物の適合化・高質化を行います。  ㊦ 屋外広告物改善・撤去 5,000
--	-------	---

No. 事業名	予算額	事業内容
基本目標5【福祉・保健・医療】健康で安心して暮らせるまちづくり		
基本政策5-1 健康で長寿のまちづくりを進めます		
<p>37</p> <p>[介護保険特別会計] 地域包括ケアの推進 (地域支援事業)</p> <p>(民生部 地域保健課) (民生部 福祉課)</p>	<p>176,455</p>	<p>介護予防を促進し、住み慣れた地域で生活を継続できるよう、予防事業、医療・介護連携、地域生活支援などを包括的に推進します。</p> <p>① 介護予防・生活支援サービス事業 52,710</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス事業(通所、訪問)</li> <li>⑤ 住民主体型サービス事業(通所、訪問)</li> <li>・ 総合事業予防マネジメント</li> </ul> <p>② 一般介護予防事業 28,661</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通いの場の育成支援</li> <li>・ 活動量計普及促進</li> <li>⑤ 脳卒中再発予防事業</li> <li>・ 予防啓発、予防教室、リハビリ専門職による支援、ボランティア活動支援</li> </ul> <p>③ 医療・介護連携事業 6,991</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT活用による医療介護関係者情報共有</li> <li>・ 昭和病院及び前澤病院へコーディネーター派遣(医療介護連携室)</li> </ul> <p>④ 認知症施策事業 7,606</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関の協力による初期対応</li> <li>・ 竜東メンタルによる個別相談</li> <li>⑤ 地域で支える認知症の人や家族支援事業</li> <li>・ 本人(初期認知症)ミーティングの開催</li> <li>・ 薬剤師との連携</li> <li>・ 小規模通所介護事業所での対応力研修</li> <li>・ 登録サポーターの養成、支援</li> </ul> <p>⑤ 生活支援体制整備事業 10,255</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 各区の生活支援コーディネーターの育成</li> <li>⑤ 各区の推進会議への補助等</li> </ul> <p>⑥ 地域ケア会議 391</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別地域ケア会議</li> <li>・ 地域ケア推進会議</li> </ul> <p>⑦ 包括支援センター事業 52,662</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合相談業務</li> <li>・ 介護予防計画委託</li> </ul> <p>⑧ 任意事業 17,179</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護相談員派遣・人材育成等</li> <li>・ シルバーハウジング生活援助員派遣</li> <li>・ 配食サービス</li> <li>・ 介護用品給付、おむつ券等</li> <li>・ 成年後見制度利用支援事業</li> </ul>

No. 事業名	予算額	事業内容
38 [国民健康保険特別会計] 保健事業  (民生部 地域保健課)	41,003	<p>傷病の未然防止・早期発見により被保険者の健康保持及びその増進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健康診査 16,487</li> <li>・ 各種がん検診等 3,438</li> <li>・ 人間ドック補助 9,207</li> </ul>
39 福祉医療制度  (民生部 市民課)	165,520	<p>子育て世帯や障がい者等の医療費による経済負担を軽減します。 なお、子ども医療費については窓口負担軽減のための現物給付方式を導入します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳幼児医療費 30,260</li> <li>・ 子ども医療費 39,740</li> <li>・ 心身障がい者医療費 41,200</li> <li>・ 高齢障害者医療費 44,300</li> <li>・ 母子医療費 9,500</li> <li>・ 父子医療費 520</li> </ul>
40 一人暮らし高齢者エアコン 設置補助  (民生部 福祉課)	100	<p>一人暮らし高齢者(住民税非課税)がエアコン設置をした際に、えがおポイントで補助します。</p> <p>⑨ 一人暮らし高齢者エアコン設置補助 100</p>
41 健康診査事業  (民生部 地域保健課)	38,736	<p>生活習慣病の発症や重症化を予防するため、各種検診の受診率向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年者節目健診 962</li> <li>・ がん検診 24,692</li> <li>・ 後期高齢者健診 3,468</li> </ul>
42 健康増進事業  (民生部 地域保健課)	8,599	<p>自殺を未然に防ぐ取り組みや、健康寿命が長くなるような支援や保健指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こまがね健康ステーション 一般会計分 1,521 介護保険特別会計分 5,379</li> <li>⑩ 精神保健・自殺対策事業 927</li> </ul>
43 風しん等予防事業  (民生部 地域保健課)	7,631	<p>風しんの感染拡大防止のため、抗体保有率の低い世代の男性に対し、抗体検査・予防接種を実施します。</p> <p>⑨ 風しんに対する抗体検査・予防接種 7,631</p>

No. 事業名	予算額	事業内容
基本政策5-2 支え合う福祉のまちづくりを進めます		
44 母子父子福祉事業  (民生部 福祉課)	6,662	子どもの健全な成長とともに、シングルマザーの悩み解消など、家族への支援を強化します。  ・ 母子自立支援 3,012 ・ 通学交通費助成 1,200 ・ 高等職業訓練促進事業 2,450

基本目標6【生涯学習・文化・スポーツ振興】ともに学び、文化を育むまちづくり		
基本政策6-1 学ぶよろこびを感じられるまちづくりを進めます		
45 地域交流センター(赤穂公民館)等整備事業  (教育委員会 社会教育課)	1,426,850	老朽化している赤穂公民館と児童発達支援施設つくし園を合わせて新築します。  ・ 本体工事ほか 1,415,500 ● 備品購入費 10,000
基本政策6-2 豊かな地域文化・芸術を育むまちづくりを進めます		
46 文化芸術振興事業  (教育委員会 社会教育課)	8,542	文化芸術振興への意識高揚を図ります。  ・ エル・システム事業ほか 8,542
基本政策6-3 スポーツ推進により健康で心豊かなまちづくりを進めます		
47 かけっこ検定  (教育委員会 社会教育課)	381	あらゆるスポーツの基礎となるかけっこを通して子どもの体力向上やスポーツに親しむ機会を増加させていきます。  ・ かけっこ検定 381

基本目標7【協働・男女共同・コミュニティ】市民が主役のまちづくり		
基本政策7-1 協働のまちづくりを進めます		
48 市民活動総合補償保険への加入  (総務部 総務課)	500	自治組織などの市民活動が安心して行えるように、市民活動総合補償保険に加入します。  ● 市民活動総合補償保険 500

No. 事業名	予算額	事業内容
基本政策 7-2 すべての人が尊重されるまちづくりを進めます		
49 友好都市交流事業  (総務部 企画振興課)	1,310	石川県かほく市との友好都市提携を記念して記念碑を設置します。  ● 石川県かほく市友好都市提携記念碑 1,000
50 JICA駒ヶ根訓練所40周年記念事業  (総務部 企画振興課)	150	JICA駒ヶ根訓練所開所40周年を記念して、JICA駒ヶ根訓練所、駒ヶ根協力隊を育てる会と連携し、記念事業を実施します。  ● JICA駒ヶ根訓練所40周年記念事業 150
51 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業  (総務部 企画振興課)	2,367	ネパールやベネズエラとの交流を推進し、市民の国際感覚やスポーツ振興を目的に交流事業を実施します。  ● ネパール陸上ユース選手招聘事業 2,187 ・ パラリンピックスポーツ等体験交流事業 100 ・ 広報等 80

行財政運営等

52 次期総合戦略の策定・個別施設計画策定調査  (総務部 企画振興課)	1,500	第4次総合計画の取り組みをさらに進めていくため、総合戦略を策定するとともに、個別施設計画策定のための調査を行います。  ● 次期総合戦略策定 500 ● 個別施設計画策定調査 1,000
53 健全財政の推進  (総務部 財政課)	20,886	大規模災害への対応等に備え、財政調整用基金に積立てます。  ・ 財政調整基金積立 20,886
54 長野県地方税滞納整理機構負担金  (総務部 税務課)	1,870	長野県地方税滞納整理機構を活用し、困難事例の解消を図ります。  ・ 長野県地方税滞納整理機構負担金 1,870

# 特別非常勤講師届出書

平成31年4月1日

長野県教育委員会 様

駒ヶ根市教育委員会 印

教育職員免許法第3条の2第1項、第2項の規定により、下記のとおり届け出ます。

## 記

特別非常勤講師（各相当学校の教育の相当免許状を有しない非常勤講師をいう。）に充てようとする者	住 所			
	氏 名	おおた ひろみ 太田 浩美		
	生年月日			
勤務させようとする学校	所在地 ・ 名称	駒ヶ根市赤穂4605番地1 赤穂小学校		
		駒ヶ根市赤穂4704番地 赤穂中学校		
教授又は実習させようとする事項		小学校生活科・総合的な学習の時間、中学校の総合的な学習の時間・特別活動の機会を通して、児童・生徒の食に関する知識・関心を深め、子どもと家庭の食生活向上に資するための指導を学校栄養職員が単独でできるようにするため。		
教授又は実習させようとする期間		2019年（平成31年）4月1日～2020年3月31日		
教授又は実習させようとする理由		<p>駒ヶ根市は市政の柱の1つに「食育」をすえ、子どもはもちろん、皆が健やかに楽しく生き生きと暮らせる社会の実現を願って活動を進めている。「駒ヶ根市食育懇話会」や「こまちちゃん食育応援団」を設立し、子どもたちを中心とした食育推進活動も積極的に進めている。</p> <p>同人は、かつて、平成21・22年度文部科学省委託の「食育推進事業」において、小学校を中心に実施した「弁当の日」に、企画から教員・児童の指導に関わり、児童生徒の栄養指導に入る等、学校給食を教材とした食育活動を行った。また、生徒会活動や学級訪問などを通じて、生活指導面でも児童生徒の心身の健全なる成長に積極的に関わった。</p> <p>したがって、栄養職員として、学問的知識と経験の中から好ましい指導ができると期待している。</p> <p>※別紙資料——人事記録カード</p>		
経 由 欄	年 月 日	経由機関 南信教育事務所	長の検印	担当者印

(備考)

- 「教授又は実習させようとする理由」欄には、特別非常勤講師に充てようとする者が適任者である旨を、履歴、資格等を含めて具体的に記載すること。
- 「教授又は実習させようとする期間」は、年度ごとに記載すること。

平成 31 年度 市内小中学校クラス別児童・生徒数(原級振替)

公開用

平成 31 年 4 月1日現在

(特別支援学級児童生徒数は各クラスに入っている)

小学校

		赤穂	赤穂東	赤穂南	中沢	東伊那	合計
1	1	28	36	33	14	21	
	2	28	36	33			
	3	28					
	4	28					
	小計	112	72	66	14	21	285
2	1	36	33	30	19	21	
	2	36	34	30			
	3	35					
	小計	107	67	60	19	21	274
3	1	28	25	36	14	17	
	2	29	26	35			
	3	29	26				
	小計	86	77	71	14	17	265
4	1	30	33	32	25	28	
	2	30	32	36			
	3	29					
	4	30					
	小計	119	65	68	25	28	305
5	1	35	29	26	19	15	
	2	34	29	26			
	3	35	29	26			
	小計	104	87	78	19	15	303
6	1	28	28	25	16	23	
	2	28	28	25			
	3	27	28	25			
	4	28					
	小計	111	84	75	16	23	309
合計		639	452	418	107	125	1,741

中学校

学年	クラス	赤穂	東	合計
1	1	36	27	
	2	36	27	
	3	36		
	4	36		
	5	36		
	6	36		
	7	36		
	小計	252	54	306
2	1	34	32	
	2	33	32	
	3	34		
	4	33		
	5	32		
	6	33		
	7	33		
	小計	232	64	296
3	1	35	34	
	2	35	31	
	3	35		
	4	36		
	5	35		
	6	35		
	7	35		
	小計	246	65	311
合計		730	183	913

# 第45回 こまがねし こどもまつり

テーマ  
駒ヶ根

わんぱく  
ランド

2019

## 4月27日(土)

こまがね そうごうぶんか しゅうへん  
駒ヶ根 総合文化センター周辺

9:00 ~ 開会式 文化センター西駐車場

9:30 広場開始  
12:00 広場終了 (花火)

もちもの このチラシ  
つくったものをいれるふくろ  
くつぷくろ (ポホルにはいるひと)  
お弁当とおかね(ひょうなひと)

### 東まわり

東伊那公民館	8:20	12:50
中沢公民館	8:30	12:40
下平マルモ商店	8:40	12:30
文化センター	8:50	12:20

### 南まわり

馬見塚公園西	8:30	12:40
赤穂南小学校	8:40	12:30
文化センター	8:50	12:20

開会式  
あつまろう!  
・「こまがね」にあえるよ  
・「ダンス」こまがねをいっしょにおどろう!!  
みんな! きこネ!

主催 駒ヶ根市こどもまつり実行委員会  
共催 駒ヶ根市 駒ヶ根市教育委員会  
駒ヶ根市社会福祉協議会  
駒ヶ根市文化財団  
後援 駒ヶ根ロータークラブ 駒ヶ根ライオンズクラブ  
信濃毎日新聞社 中日新聞社 長野日報社  
エコーシティ・駒ヶ岳

演奏もします

### \*\*お願い\*\*

- ・ゴミはもちかえりましょう。
- ・ちいさいおともだちは、お家のひとと参加しましょう。
- ・うごきやすい服そいで参加しましょう。
- ・作ったものを入れる「ふくろ」があると便利です。
- ・自転車は、自転車おき場 **あ** にとめましょう。
- ・自転車でくるひとは、かならずヘルメットをかぶりましょう。
- ・駐車場 **回** に限りがあります。歩き、自転車、無料送迎バスを利用してください。
- ・地震の時は、外にいる人は、文化センター西駐車場へ避難します。室内にいる人は机の下にもぐり、係りの指示に従いましょう。

お問い合わせ  
駒ヶ根市教育委員会  
TEL 83-2111  
内線 716

雨天でもやります。

午前6:30に  
有線放送が流れます。



# 馬ヶ根 わんぱくランド 2019

こちらのPに車を停めた方は  
「入口」からお入り下さい

あかほ ぼくえん  
赤穂 保育園

無料バスの  
のりば

バス

工事 中 ・ 立入 禁止

2F 集会室・講習室

本部  
7が おとこの  
は ココロ!

図書館

小ホール

ホワイエ

大ホール

すずらんこうえん

「こまかつば」が  
みんなを  
まってるヨ!!  
あいにくてね!!



こまかつば

場所	広場名・団体名	内容	傘	スタンプ
①	チャレンジ広場 馬ヶ根市スポーツ推進委員会	ストラックアウト 輪投げ ストラックライン		
②	タイムトンネル ボーイスカウト馬ヶ根第1団	ダンボルトンネル迷路		
③	なかよしランド ガールスカウト長野県第32団	ゲームとクラフト		
④	アフリカンドラム体験コーナー ジュボード・コマカネ	西アフリカ・セネガルの たいこをみんなでたこ		
⑤	お菓子売り場 馬ヶ根青年会議所	お菓子の詰め合わせ 販売		
⑥	世界の遊び 馬ヶ根協カ隊を育てる会	外国の遊びを 体験しよう!		
⑦	いいものつくろう♪ 馬ヶ根市教育委員会	かみざりく おりがみ 紙糸田工・折り紙		
⑧	チャレンジ!! あそびびく!! 伊南子ども遊戯場	火あこし体験 心西びきうけん(制作) コマあそび		
⑨	よくかんで食べているかな? こまちん食育応援団	かみかみセンサー体験 クイズ・かみかみおやつ 紹介		
⑩	まゆだまで作ろう 馬ヶ根シルバージュニア 乗の奥の会	どうぶつ 動物物をつくろう		
⑪	VYSとあそぼう!! 馬ヶ根VYS会	こうそく 工作		
⑫	木とのふれあい木育広場 馬ヶ根市産業部 農林課	しいたけ 駒子打ち体験 コースター作り 木アート・苗木の無料販売		
⑬	ライ・クワ・クエ 馬ヶ根市立図書館	〜ライブラリー☆クエスト クイズをひいて、きみも としようマスターになろう!		

スタンプをおつめたら 本部 にきてね! まってるヨ!!

H31.4 定例教育委員会報告 行事共催等承認申請一覧(専決分報告)

区分	受付番号	行事の名称	団体名	開催日	開催場所	承認
後援	30-186	第36回長野県校高等学校演劇合同発表会	長野県高等学校文化連盟演劇専門部	平成31年11月7日(木)～10日(日)	駒ヶ根総合文化センター	承認
後援	30-187	生涯学習セミナー	駒ヶ根モラロジー事務所	令和31年5月26日(日)	アルパ3階多目的ホール	承認
後援	1-001	伊那フィルハーモニー交響楽団 駒ヶ根公演	伊那フィルハーモニー交響楽団	令和元年5月18日(土)	駒ヶ根市文化会館	承認
後援	1-002	歌声喫茶in駒ヶ根	駒ヶ根歌声喫茶実行委員会	令和元年6月1日(土)	アイパル 大ホール	承認
後援	1-003	第6回親守詩長野県南信大会	親守詩長野県南信大会実行委員会	令和元年10月20日(日)	飯田市鼎文化センター	承認
後援	1-004	第16回サンスポーツ駒ヶ根 卓球大会	障がい者スポーツ支援センター駒ヶ根	令和元年6月9日(日)	駒ヶ根市民体育館	承認
後援	1-005	スポーツクラブin上伊那	障がい者スポーツ支援センター駒ヶ根	令和元年10月26日(土)、11月9日(土)、12月7日(土)	駒ヶ根市民体育館	承認
後援	1-006	伊那西高等学校合唱コンクール	伊那西高等学校	令和元年12月20日(金)	駒ヶ根市文化会館	承認
後援	1-007	南信高等学校総合体育大会柔道競技大会	南信高体連柔道専門部	令和元年5月11日(土)～12日(日)	駒ヶ根市武道館	承認
後援	1-008	長野県高等学校総合体育大会柔道競技大会	長野県高体連 柔道専門部	令和元年6月1日(土)～2日(日)	駒ヶ根市武道館	承認
後援	1-009	大太坊 駒ヶ根後援	大太坊	令和元年8月10日(土)	文化センター大ホール	承認
後援	1-010	伊那谷プラスvol.6	伊那谷プラス	令和元年6月15日(土)～16日(日)	駒ヶ根市文化会館大ホール	承認
後援	1-011	第95回伊那美術展	伊那美術協会	令和元年9月1日(日)～8日(日)	長野県伊那文化機関	承認
後援	1-012	第20回上伊那童謡唱歌をうたう会	赤穂公民館 童唱こまくさ	令和元年10月5日(日)	駒ヶ根文化会館大ホール	承認
後援	1-013	チャリティー教育講演会2019～子供たちの明るい未来へ いま私たちにできる事は～	NPO法人日本武道総合格闘技連盟	令和元年6月8日(土)、29日(土)	ビーラクスマツカワ、諏訪湖ハイツ	承認
後援	1-014	第61回長野県連合会吟道大会、第53回上伊那岳風会吟道大会	長野県上伊那岳風会	令和元年9月13日(金)、14日(土)	駒ヶ根総合文化センター	承認

共催 0件  
 後援 16件  
 協賛 0件  
 16件

承認 16件  
 不承認 0件  
 協議中 0件  
 16件

平成31（令和元）年度 運動会 委員出席分担表（案）

【参考】

学校名	期日		出席委員	予備日	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
赤穂中学校	8月31日	土	本多教育長	9月2日	本多教育長 北原代理	小木曾教育長 唐澤委員	諏訪委員長 北原委員	小木曾教育長 北原委員	小木曾教育長 北原委員	小木曾教育長 北原委員	小木曾教育長 北原委員	小木曾教育長 北原委員	小木曾教育長 塩澤委員
赤穂小学校	9月21日	土	本多教育長	9月22日	唐澤委員長	北原委員長	小木曾教育長	諏訪委員長	北原委員	小木曾教育長	諏訪委員長	北原委員	小木曾教育長
赤穂東小学校	9月21日	土	唐澤委員	9月22日	北原代理	小木曾教育長	諏訪委員長	北原委員	小木曾教育長	諏訪委員長	北原委員	小木曾教育長	諏訪委員長
赤穂南小学校	6月1日	土	氣賀澤委員	6月2日	本多教育長	唐澤委員	北原委員	小木曾教育長	諏訪委員長	北原委員	小木曾教育長	諏訪委員長	塩澤委員
中沢小学校	6月1日	土	下島委員	6月2日	下島委員	下島代理	下島委員	下島委員	下島委員	下島委員	下島委員	山口代理	山口代理
東伊那小学校	6月1日	土	福澤委員	6月2日	福澤委員	福澤委員	小木曾代理	小木曾代理	小木曾代理	小木曾代理	小木曾代理	小木曾委員	小木曾委員

【分担の根拠】

- ①東中学校はなし
- ②中沢小、東伊那小は各地区の委員が出席
- ③赤穂小・赤穂東小・赤穂南小は赤穂地区の委員と教育長で回り順で出席
- ④赤穂中は教育長出席。

産学官交流会

キャリア教育

第6回

日時 2019年5月21日(火) 13:30～17:20 (受付13:00～)

会場 宮田村民会館 〒399-4301 上伊那郡宮田村 7021 JR宮田駅より徒歩5分 Tel 0265-85-2314



参加者 上伊那地域を中心とした産学官関係者及び保護者、住民の方(計300名程度)

主催 郷土愛プロジェクト 会長 向山 孝一(KOA株式会社取締役会長) 事務局 上伊那広域連合地域振興課

共催/宮田村教育委員会 後援/宮田村、宮田村商工会、上伊那教育会、(一社)駒ヶ根青年会議所 連絡先/上伊那広域連合 Tel 0265-78-2500 メール career@union-kamiina.jp (担当/安積・井崎)

テーマ

「つながりつなげて 育てよう地域の宝」

[内容]

1部 交流会 (大ホール・各会議室等)

13:00～ 開場・受付開始

13:30～14:00 (30分) オープニング

14:00～15:00 (60分) 基調提案

① 宮田小学校・宮田中学校

② ミヤダボンドプロジェクト・宮田村商工会青年部

15:10～16:20 (70分) 交流のためのワークショップ

16:30～17:20 (50分) 未来セッション クロージング



2部 意見交換会(懇親会) (第3・4・5会議室)

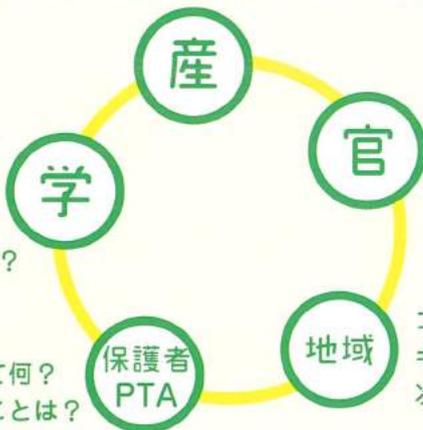
17:30～19:15 (105分) 会費: 3,000円(飲食あり)

※懇親会では地元のお酒を含めた飲食を用意しますので、ぜひ電車にてお越しください。飲酒運転は法律で固く禁じられています。なお、お車の場合は、駐車場のスペースの都合上乗り合わせにご協力ください。

宮田駅発 お帰りの電車時間のご案内	
〈岡谷行き〉 19:49	〈駒ヶ根行き〉 19:49



職場体験をもっと良くしたい  
将来の人材確保のために今すべきことは?



キャリア教育とふるさと学習のつながりは? 小中高大で連携する意味は?

キャリア教育って何? 親としてできることは? PTA活動がつながる?

地域の未来のために今できることは? 地域づくりと教育分野はどうつながる?

コミュニティスクールとキャリア教育の関係は? 次世代に何をどう伝える?

この会に昨年参加された方の声

普段の交流とは違った視点の発想が芽生え、新たなアイデアづくりに有効(行政)

よい出会いの機会ができ、異なる業種の方と話すことはとても面白かった(産業界)

こんな方におススメです!



## 基調提案 について

産学官が連携したキャリア教育の事例として  
宮田村の取り組みを発表いただきます。

### 基調提案① 小中学校共通テーマ「郷育」

小学校演題 「ふるさと宮田の魅力を知ろう」

基調提案者 宮田小学校教諭 小口 真太郎

小学校では、当たり前で生活している宮田村の「なぜ？」や「そういえば」に着目し、「ふるさとCM」作りや森林学習、歴史学習などに取り組んできました。子どもたちが宮田村をもっと知り、もっと好きになり、根底にふるさとを愛する心を持って人生を歩んでほしいとの願いを込めた活動の数々をご紹介します。



中学校演題 「知ろう！宮田村～体験しよう！宮田村～よりよくしよう！宮田村」

基調提案者 宮田中学校教頭 伊藤 文雄

教育大綱の目標「郷育」の具現を目指して、中学校三年間の総合的な学習の時間を、体系的なカリキュラムに基づいて連続した活動を行っている宮田中学校。自然、製造業、観光、食文化等のテーマから、故郷・宮田村の<人・もの・こと>を知り、つながり、発信している生徒たちの主体的な実践と、具体的な姿をご紹介します。



### 基調提案② みんなが繋がる宮田村を目指して

基調提案者

ミヤダボンドプロジェクト代表 保科 靖国

宮田村商工会青年部 上野 則秋

商工会青年部や役場職員などの異業種が有志で構成し、地域の人と人とのつながりを目指して活動している「ミヤダボンドプロジェクト」。「あいさつ運動」や「夢体験事業」「夢ノート事業」など、民間の事業者やPTAを巻き込み、地域のつながりを求めた活動の報告と課題、今後の取り組みについて発表します。



交流のための  
ワークショップ  
について



#### 内容

基調提案を踏まえて、参加者それぞれの立場から伊那谷のキャリア教育や次世代育成に対して、できることや目指したいあり方などについて意見を出し合います。

#### 方法

1グループを6～7名とし、意見や考えを模造紙に記録しながら話し合います。グループリーダー以外のメンバーはテーブルをチェンジしながら合計3回意見交換を行います。

#### 申込方法

申込締切：5月8日(水)

### インターネットからの申込方法

## 【第6回キャリア教育産学官交流会参加申込】

①「郷土愛プロジェクト」HP トピックス欄

<https://inadani-kyodoai.jp/>

② 参加申込フォーム



申込入力はお一人ずつです。インターネットからの申込みが難しい場合や、懇親会キャンセルの場合は上伊那広域連合(0265-78-2500)までご連絡ください。(懇親会の当日キャンセルは会費をいただきます)

#### 交流会の目的

産学官の交流を通して、上伊那地域(家庭、住民、学校、産業界、行政)が一体となり、ふるさとを舞台にしたよりよい次世代育成と地域づくりを推進する機会にする。

**郷土愛プロジェクトとは** 「地域に学び 地域をつなぐ 地域のでふるさとの未来をつくる」思いのもと、上伊那8市町村の産学官組織が構成団体となり、従来の枠組みを超えて協働しながら、次世代育成や地域づくりを実践しているプロジェクトです。

**構成団体** 長野県経営者協会上伊那支部、伊那商工会議所、駒ヶ根商工会議所、長野県商工会連合会上伊那支部、長野県教育委員会、南信教育事務所、上伊那市町村教育委員会連絡協議会、上伊那校長会、上伊那地区高等学校長会、信州大学、上伊那8市町村教育委員会、長野県テクノ財団、上伊那PTA連合会、上伊那広域連合

